

国民革命忠烈祠

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』



この記事は検証可能な参考文献や出典が全く示されていないか、不十分です。出典を追加して記事の信頼性向上にご協力ください。

出典検索?: "国民革命忠烈祠" (https://www.google.co.jp/search?hl=ja&as_eq=wikipedia&q=%22%E5%9B%BD%E6%B0%91%E9%9D%A9%E5%91%BD%E5%BF%A0%E7%83%88%E7%A5%A0%22&num=50) - ニュース (<https://www.google.co.jp/search?hl=ja&q=%22%E5%9B%BD%E6%B0%91%E9%9D%A9%E5%91%BD%E5%BF%A0%E7%83%88%E7%A5%A0%22&tbm=nws>)・書籍 (<https://www.google.co.jp/search?hl=ja&tbs=bks:1&q=%22%E5%9B%BD%E6%B0%91%E9%9D%A9%E5%91%BD%E5%BF%A0%E7%83%88%E7%A5%A0%22>)・スカラー (<https://scholar.google.co.jp/scholar?num=100&hl=ja&q=%22%E5%9B%BD%E6%B0%91%E9%9D%A9%E5%91%BD%E5%BF%A0%E7%83%88%E7%A5%A0%22>)・CiNii (<https://ci.nii.ac.jp/opensearch/search?lang=ja&q=%22%E5%9B%BD%E6%B0%91%E9%9D%A9%E5%91%BD%E5%BF%A0%E7%83%88%E7%A5%A0%22&range=2&count=200&sortorder=1&type=0>)・J-STAGE (<https://www.jstage.jst.go.jp/result/global/-char/ja?globalSearchKey=%22%E5%9B%BD%E6%B0%91%E9%9D%A9%E5%91%BD%E5%BF%A0%E7%83%88%E7%A5%A0%22>)・NDL (https://iss.ndl.go.jp/books?op_id=1&locale=ja&any=%22%E5%9B%BD%E6%B0%91%E9%9D%A9%E5%91%BD%E5%BF%A0%E7%83%88%E7%A5%A0%22&display=&ar=4e1f)・dlib.jp (<https://dlib.jp/?q=%22%E5%9B%BD%E6%B0%91%E9%9D%A9%E5%91%BD%E5%BF%A0%E7%83%88%E7%A5%A0%22>)・ジャパンサーチ (<https://jpsearch.go.jp/csearch/jps-cross?csid=jps-cross&keyword=%22%E5%9B%BD%E6%B0%91%E9%9D%A9%E5%91%BD%E5%BF%A0%E7%83%88%E7%A5%A0%22>)・TWL (<https://wikipedialibrary.wmflabs.org/partners/>) (2010年6月)

国民革命忠烈祠（こくみんかくめいちゅうれつし）は、中華民国台北市中山区劍潭山にある、辛亥革命を始めとする中華民国建国および革命、中国大陆での日中戦争などにおいて戦没した中国革命家や中国兵士の英霊を祀る祠で、中華民国国防部の管轄下にある。一般には台北忠烈祠、圓山忠烈祠あるいは大直忠烈祠とも呼ばれている。



目次

概要

衛兵交代

所在地

ギャラリー

脚注

外部リンク

概要

日本統治時代は台湾護国神社が当地に建立された。その跡地に1969年に創建された。大門をくぐると中央広場があり、その奥に中国の宮殿様式の大殿があり、左右の文烈士祠、武烈士祠がある。武烈士祠には、革命・建国の為に亡くなった志士約33万人が祀られている。

衛兵交代

忠烈祠は、衛兵交代のセレモニーで有名である。陸・海・空軍より選抜された兵士が、1時間交代で大門と大殿を各2人ずつで守っている^[1]。任務に就くと1時間微動だにせず、瞬きも控えている。側には世話係がつき、ハンカチで衛兵の汗を拭いたりしている。

衛兵交代は1時間毎に行われる^[2]。毎時ちょうどになると引率の兵士1人を含む5人（任務に就いていた兵士とこれから就く兵士）で隊列を組んだ儀仗兵が、大門から大殿に向かって銃を背中に背負ってゆっくりと行進を開始する。大殿に到着すると、儀仗兵は任務に就いていた衛兵2名と合流して、殿内の位牌に向かい敬礼をする。その後、銃を交換、またそれを振り回す儀式（衛兵が持っている銃の状態を確認する動作が半ば形式化したもの）を行い、次に任務に就く2名を残して、3名で大門に戻って行く。そして、大門に行くと大門守護の任務に就く2人が門の前に行き台の上で任務に就く。セレモニーの所要時間は約20分間。

儀仗兵の資格だが、高卒以上で犯歴がなく、身長175cm - 195cm、体重65kg±1kgが条件で、その上に厳しい訓練が課せられ、それを成し得た者のみが儀仗兵になれる。

所在地

- 台北市中山区北安路139号

交通アクセス

- 台北市聯営公車208、213、247、267、287、21、42 - 忠烈祠バス停
- 台北市聯営公車21、47、40、42、203、208、240、260、291、301、304、308、310 - 圓山バス停

ギャラリー



地図



大門牌楼



大門牌楼内で任務に就く衛兵 山門



忠烈祠大殿



大殿の飾り



鼓楼

脚注

- [^] 青の制服が空軍、白の制服が海軍、緑の制服が陸軍。
- [^] 毎年3月29日の青年節、9月3日の軍人節、悪天候の日を除いて、毎日行われる。雨降りの場合は簡略的なものが行われる。

外部リンク

- 忠烈祠(日本語) (<https://trippers.info/taiwan/taipei/0007>)
- 円山忠烈祠紹介 (http://afrc.mnd.gov.tw/stayMession/item_06.html)（中華民国国防部 後備司令部・留守業務サイトより）
- [1] (http://afrc.mnd.gov.tw/martyr/martyr_brief/martyr_mnd.html%7C後備司令部・国民革命忠烈祠)

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=国民革命忠烈祠&oldid=82710372>」から取得

最終更新 2021年3月29日 (月) 14:11（日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。